

令和6年度 江戸川区立篠崎第四小学校 人権教育 年間指導計画（第4学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心にした指導をする。			他の人の大切さを認めることを中心にした指導をする。			互いの大切さを認めることを中心とした指導をする。		
各教科・読書科	理科 「季節と生き物」 生物を愛護する態度を育て、動物の活動や植物の成長と環境のかかわりについて見方や考え方をもつことができる。		保健体育 「育ちゆく体とわたし」 健康な生活及び体の発育・発達について理解し、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。		国語 「一つの花」 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化・情景などについて、叙述を基に想像して読む能力を身に付ける。 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づく。	理科 「季節と生き物」 生命の連続性について考えることができる。	国語 「ごんぎつね」 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化・情景などについて、叙述を基に想像して読む能力を身に付ける。 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づく。		国語 「便利ということ」 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読む能力を身に付ける。	国語 「自分の成長をふり返って」 相手や目的を意識して、経験したことや創造したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にする。	
特別の教科 道徳	友情・信頼、助け合い 友達どうしがお互いを理解し、信頼して、助け合おうとする気持ちを育てる。	思いやり・親切 お年寄りや困っている人に対する思いやりの気持ちを、積極的に伝えようとする心を育てる。	自然愛・動植物愛護 自然のすばらしさにふれ、自然や、動植物を大切にしようとする気持ちを育てる。	思いやり・親切 相手の気持ちを思いやり、親切にしようとする心情を培う。	友情・信頼、助け合い 友だちと励まし合い、助け合って、友情を深めていこうとする心情を育てる。	愛国心 外国の人々やその文化に関心をもつだけでなく、自分の国の伝統や文化を大事にすることに気づき、自らの国を大事にしようと思う心情を育てる。	友情・信頼、助け合い 『子ども』 友だちの気持ちや立場を理解し、助け合おうとする心情を育てる。			個性伸長 自分のことをよく知り、よいところを伸ばそうとする態度を育てる。	
総合的な学習の時間	「広げよう！ふれあいの輪」 『障害者』 バリアフリーやユニバーサルデザインについて調べたり、出前ボランティア体験をしたりすることを通し、町の中には、障害者やお年寄りにとって便利な施設や設備があることに気づかせる。										
特別活動	なかよし班ロング集会 縦割り班で遊び、交流を深める。										
	なかよし班遊び よりよい人間関係を築く態度を養う。										
その他		ふれあい月間						ふれあい月間			
	おはなし隊（保護者ボランティア）による読み聞かせ										

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導   =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。